

平戸市公共施設等総合管理計画策定までの流れ

1. 背景

- ・ 築30年を超える公共施設が過半数を占めており、今後一斉に建替え、改修時期を迎える
- ・ 人口減少等による市税収入の減少、普通交付税の減少
- ・ 市町村合併後の施設全体の最適化を図る必要性



平成26年 3月 平戸市公共施設白書作成



平成26年 4月 総務省より公共施設等総合管理計画の策定要請

平成27年 3月 平戸市公共施設適正化基本方針策定



平成28年 3月 固定資産台帳整備予定



平成29年 3月 平戸市公共施設等総合管理計画策定予定

2. 業務委託

- ・ 契約期間 平成27年 6月11日～平成29年 3月24日
- ・ 委託業者 アジア航測株式会社長崎営業所

3. 平戸市公共施設等総合管理計画策定スケジュール

①平成27年度（公共施設の情報整理）

- ・ 公共施設台帳の整理（固定資産台帳整理）
- ・ 公共施設の現地調査
- ・ 公共施設の利用状況等調査
- ・ 調査結果の分析、課題の整理
- ・ 市民アンケートの実施

②平成28年度（計画策定）

- ・ 公共施設等の現況及び将来の見通し
- ・ 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針
- ・ 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針
- ・ パブリックコメントの実施

平戸市公共施設等総合管理計画策定業務 進捗表

項目	年月	平成27年度												平成28年度																									
		6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月										
		10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30					
(1) 施設状況の整理																																							
職員説明会の開催																																							
資産ヒアリング																																							
資料収集																																							
公共施設等の整理																																							
インフラ資産の整理																																							
(2) 施設現況調査																																							
公共施設等の突合検査																																							
公共施設等(土地、建物)不一致リストの作成																																							
インフラ資産データの各種調査と分類整理																																							
インフラ資産データの不明リスト作成																																							
公共施設等の現地調査																																							
現況調査の整理																																							
資産評価基準書の作成																																							
固定資産台帳の開始簿価算定																																							
(3) 現況調査のとりまとめ																																							
公有地の主題図および位置図作成																																							
公共施設等データベースの作成																																							
(4) 施設カルテの作成																																							
施設カルテの作成																																							
(5) 市民アンケートの実施																																							
市民アンケートの実施																																							
(6) 公共施設等総合管理計画の策定																																							
公共施設等の現況及び将来の見通し																																							
公共施設等の管理方針、削減目標値の検討																																							
統合や廃止の推進方針																																							
公共施設等総合管理計画素案作成																																							
パブリックコメントの実施																																							
管理計画最終調整																																							

- - - - - → 完了工程
 - - - - - → 予定工程
 ★ 委員会での報告内容等

「公共施設等に関する市民アンケート」へのご協力をお願い

このアンケートは、今後の公共施設のあり方について市民の皆様からご意見をいただき、公共施設の将来の方向性を導くための基礎資料として活用するためのものです。

つきましては、ご多用の折恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成28年1月 平戸市長 黒田 成彦

1 調査対象

本アンケートは、平戸市にお住まいの18歳以上の方から2,500人を無作為に抽出して実施しています。

2 記入にあたってのお願い

- (1) 封筒宛名のご本人がお答えください。ご本人の記入が難しい場合は、ご家族などの代筆で回答をお願いします。
- (2) 回答は、該当する番号を○で囲んだり、具体的に記述するなど、設問ごとに指定する方法でご記入ください。
- (3) 回答欄の「その他」を選んだときは、() 内に簡単にその内容をご記入ください。
- (4) 氏名・住所の記入は必要ありません。

3 アンケートの取扱いについて

本アンケートは今後の検討の基礎資料として使用し、別の目的には使用いたしません。また、無記名ですので個人が特定されることはありません。

4 問い合わせ先

平戸市 総務部 行革推進課 (担当: 村田、長嶋)

電 話 0950-22-4111 (内線 2353) FAX 0950-22-5178

5 アンケートの回収について

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒(切手及び差出人記名とも不要です。)に入れて、平成28年2月●日(●)までにご投函ください。

本アンケートは市役所が回収した後、本市が委託契約しているアジア航測株式会社により集計・分析が行われます。

【回答用紙】公共施設等に関する市民アンケート

●あなた自身について、公共施設等の利用状況について教えてください。

問1. 以下の表に分類された公共施設について、「①利用頻度」から1つ選んで、あなたの年間の利用回数に最も近い番号に○をしてください。

「①利用頻度」で「年に数回程度」または「利用しない」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選び（3つ以内）、番号に○をしてください。

公共施設の類型 利用頻度・ 利用していない理由	① 利用頻度				「①利用頻度」で 「3」または「4」 に○をした場合は、その理由を 「②利用していない理由」から各 施設3つ以内を 選んで番号に○ をしてください。	② 利用していない理由（各施設3つまで）						
	週に1回以上	月に1回以上	年に数回程度	利用しない		利用する必要（機会）がない	施設の存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス（手段）が不便である	利用時間帯が合わない	サービス内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している
1) 公民館・図書館	1	2	3	4	▶	1	2	3	4	5	6	7
2) ホール型施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
3) コミュニティ（集会）施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
4) 公園施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
5) スポーツ施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
6) レクリエーション（休養・娯楽）施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
7) 福祉・保健施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
8) 子ども向け施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
9) 産業振興施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
10) 文化・観光施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
11) 交通施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
12) 行政施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7
13) その他の施設	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7

※公共施設の類型に該当する主な公共施設は、次ページの表を参照してください。

主な公共施設

1) 公民館・図書館	未来創造館、ふれあいセンター、多目的研修センター、生月町中央公民館、田平町民センター、大島村離島開発総合センター
2) ホール型（広間型）施設	平戸文化センター、生月町開発総合センター、田平活性化施設
3) コミュニティ（集会）施設	中野ふれあい会館、獅子ふれあい会館、志々伎ふれあい会館、生月町御崎コミュニティセンター、田平町南地区交流センター、大島地区活性化センターなど
4) 公園施設	亀岡公園、崎方公園、京崎公園、福良漁港運動公園、クルスの丘公園、田平町城山公園、大島村城山公園など
5) スポーツ施設	ライフカントリー、シーライフひらど、中部市民運動場、南部市民屋内運動場、生月町B&G海洋センター、田平町体育館、的山グラウンドなど
6) レクリエーション（休養・娯楽）施設	半元海水浴場、紙漉の里ふれあい施設、根師子海水浴場、御崎野営場、中瀬草原、大賀キャンプ場など
7) 福祉・保健施設	ふれ愛センター度島、シルバーワークプラザ、生月高齢者生活福祉センター、大島高齢者生活福祉センター、度島診療所、福祉保健センター、大島診療所など
8) 子ども向け施設	小中学校の教室・体育館・グラウンド（学校行事以外の利用に限る）、度島町へき地保育所、根獅子町へき地保育所、早福町へき地保育所、山田保育所、大島村保育所、療育支援センター、学童保育所、児童館など
9) 産業振興施設	農林水産物集出荷貯蔵施設、生月大橋公園道の駅、平戸瀬戸市場、ビートル館、大島村農畜産物加工施設など
10) 文化・観光施設	平戸城、平戸オランダ商館、鄭成功記念館、切支丹資料館、島の館、田平昆虫自然園、里田原歴史民族資料館、あづち大島いさりびの里など
11) 交通施設	平戸市観光交通ターミナル、度島漁港フェリー待合所、春日地区便益施設、前津吉インフォメーション、水産振興施設（バスターミナル）、田平ターミナルビル、大島インフォメーションなど
12) 行政施設	市役所本庁、支所、出張所
13) その他の施設	公衆便所、斎場

●**公共施設について、あなた自身の考えを教えてください。**

問2. あなたが今後も平戸市で暮らし続けることを考えた場合、公共施設は、どのような機能を優先的に維持または充実していくべきだと思いますか。

あなたの考えに最も近い番号（3つ以内）を選んで○をしてください。

1	会議の場やコミュニティ（集会）活動等の交流の場に利用できる機能（集会機能）
2	生涯学習講座等の教育・文化を学べる機能（社会教育文化機能）
3	チームや個人でスポーツができる機能（スポーツ機能）
4	余暇を利用して行う遊びや楽しみを提供する機能（レクリエーション（休養・娯楽）機能）
5	漁業・農業などの地域産業の振興（物産や加工など）を支援する機能（産業支援機能）
6	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を提供する機能（住宅機能）
7	平戸の魅力を発信し集客を支援する機能（観光機能）
8	交通の利便性向上を支援する機能（交通機能）
9	その他（ ）

問3. 将来的に平戸市の公共施設を見直すこととなった場合、どのような施設を優先的に見直すべきだと思いますか。

あなたの考えに最も近い番号（3つ以内）を選んで○をしてください。

1	維持管理費の高い施設
2	建物・設備が古く老朽化した施設
3	利用者が少ない施設
4	一部の個人・団体のみが利用している施設
5	市民のニーズ（要望・需要）に合っていない施設
6	同じ機能をもった民間施設で代用できる施設
7	国や県、近隣自治体の施設と機能が重複している施設
8	利用しにくい（交通の便が悪い、バリアフリー（階段や段差など障壁となるものを取り除いた）施設
9	その他（ ）

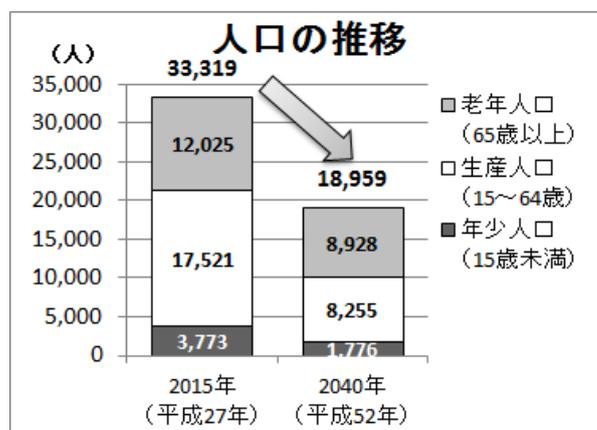
次の「公共施設の現状と課題」をお読みになってから 次ページからの問いにお答えください。

平戸市ではこれまで、多様化する市民ニーズ（要望・需要）に応えるため数多くの公共施設を整備してきました。その結果、平戸市は約400もの公共施設を保有していますが、老朽化が顕著で建替えや大規模改修が急務となっている施設も少なくありません。また、平成28年度からの普通交付税の減少や人口減少に伴い、厳しい財政状況が予想されます。

このため、計画的に財源を確保し、他の施策への影響を考慮しながら公共施設の適正な管理運営を進める必要があります。

■人口減少と少子高齢化

平戸市の2015年（平成27年）10月1日現在の人口は、33,319人ですが、2040年（平成52年）には18,959人（現在の56.9%）になると予測されます。高齢化率は現在36.1%ですが、47.1%になり、今後は市民に必要な公共施設の質と量が変化していくことが考えられます。

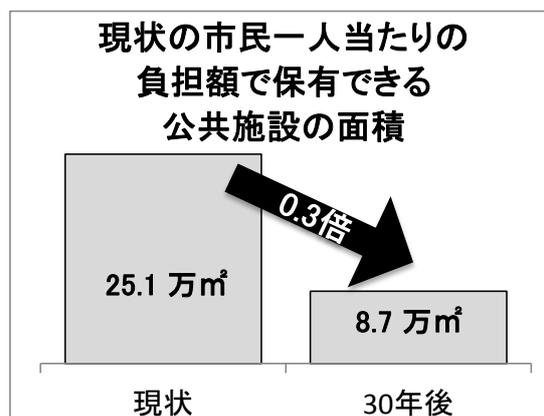
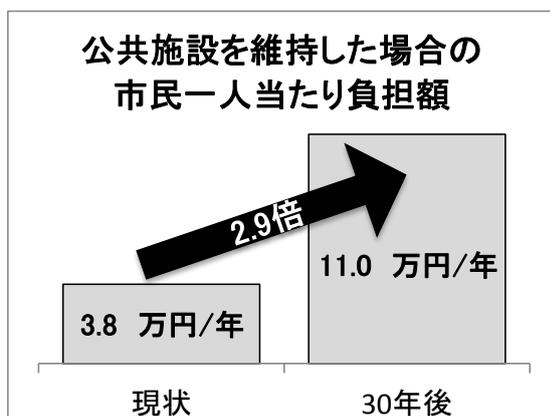


■公共施設の老朽化と維持管理

平戸市の公共施設は延べ床面積で50%以上が築30年以上を経過しており、41%が旧耐震基準の建物となっています。将来には建替え、大規模改修に合わせて耐震化工事の必要な施設が増加するため、将来の維持管理費用が増大すると予測されます。

現在の公共施設の更新費用は、年間13億円で市民一人当たり3.8万円/年ですが、公共施設を現状のまま更新していくと、30年後は2.9倍の11.0万円/年になります。

市民一人当たりの負担額を現状の3.8万円/年で維持した場合、公共施設の面積は、30年後には現状のおよそ3分の1の面積に減らす必要があります。



問4. 全国的に公共施設の老朽化対策が問題となっています。平戸市の公共施設についても老朽化が進んでおり、今後、修繕や建替えに多くの財政負担を伴うことが予想されます。
 このような公共施設の問題について、あなたの認識に最も近い番号1つに○をしてください。

1	よく知っていた。
2	少しは知っていた。
3	ほとんど知らなかった。
4	まったく知らなかった。

※平戸市公共施設の現状と課題の詳細については、昨年4月、5月号の広報でお知らせしています。

問5. 平戸市では今後、少子高齢化が進展し、人口と税収の減少が見込まれる中、すべての施設を維持することが困難になってきます。
 平戸市の取組みの方針について、あなたの考えに最も近い番号1つに○をしてください。

1	現在の市民負担のまま維持できる範囲の公共施設の量に減らしていく。 ※利用頻度の低い施設、採算性の悪い施設から減らしていく。
2	公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合う範囲の公共施設の量に再編していく。 ※少子高齢化となる将来像、交通の便（特に離島部）等を踏まえたうえで、公共施設を減らしたり、まとめたりしていく。
3	現状の公共施設は全て必要なので、市民の負担が増えても現状維持を優先する。 ※建替え・補修等をしながら、今ある施設を維持していく。
4	その他（ ）

問6. 平戸市の公共施設を適切に管理運営していくためには、維持管理にかかる費用の見直しや新たな財源の確保が必要です。
 そのための取組み方針（ア）と（イ）について、それぞれあなたの考えに最も近い番号（3つ以内）を選んで○をしてください。

（ア）公共施設そのものに対する取組み方針（3つ以内）

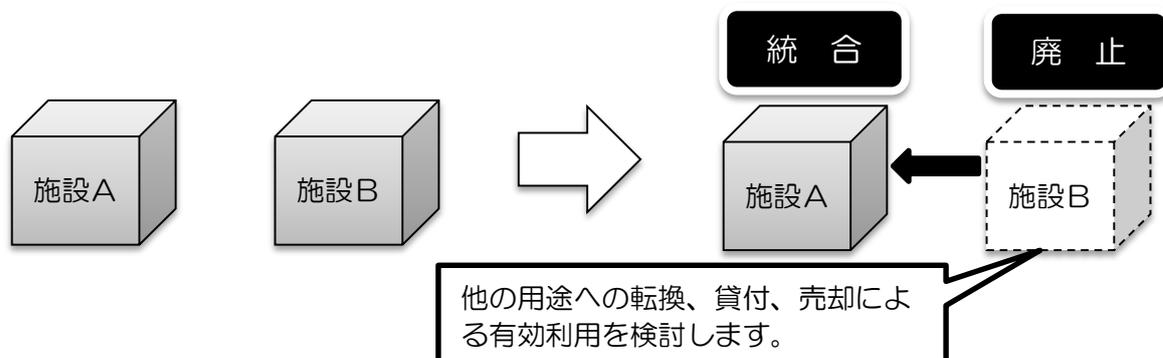
1	耐用年数が到来した施設であっても、すぐに建替えをせずに修繕しながら長持ちさせて可能な限り長く使う。
2	老朽化した施設は積極的に更新（建替え）していく。
3	統廃合 ^{*1} 、複合化 ^{*2} による機能集約を推進し、施設を再編する。
4	規模の大きな施設を小さくし、維持管理費を削減する。
5	利用されていない施設や土地の一部を売却・賃貸して新たな財源を確保する。
6	その他（ ）

(イ) 公共施設のサービス・運営に対する取組み方針（3つ以内）

1	施設の利用料金を引き上げる。または、利用料金等を徴収する施設を増やす。
2	施設におけるサービスの水準を引き下げる（開館日数の削減、開館時間の短縮等）。
3	施設の更新（建替え）や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。
4	地域活動の拠点となる施設の管理運営を地域の住民等に任せる。
5	施設を増やさずに、類似した民間施設の利用に対して市が助成を行う。
6	その他（ ）

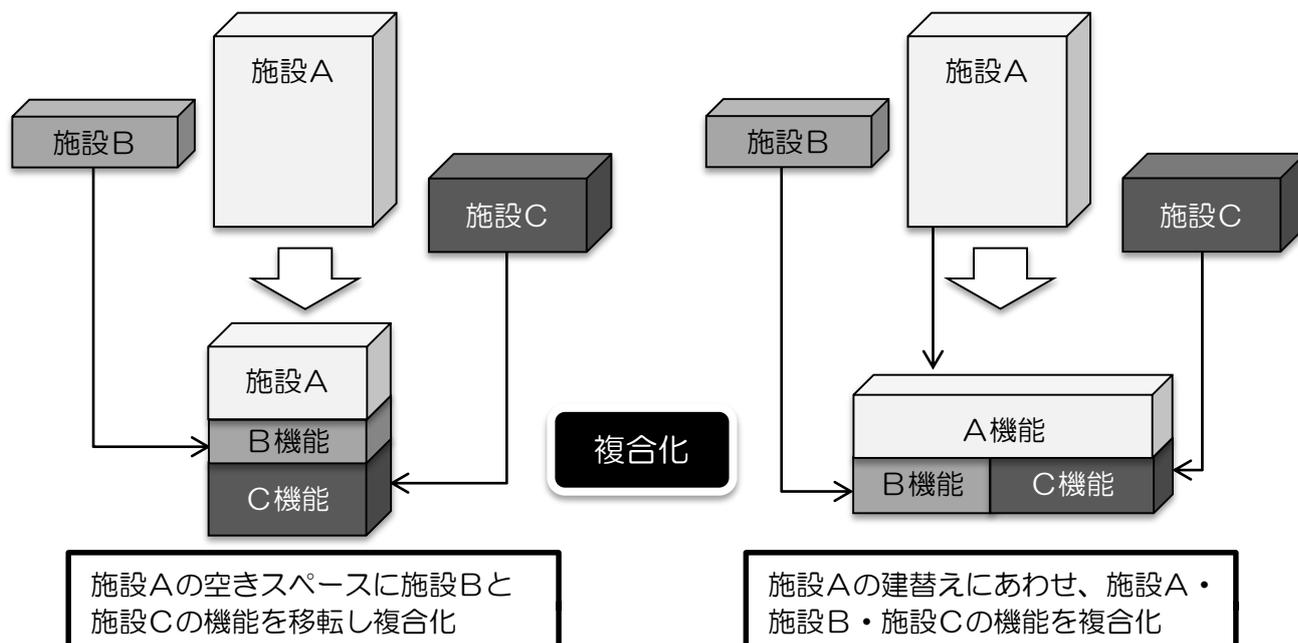
※1 統廃合とは？

利用度が低い施設などは、有効な利活用が図られるよう統廃合を検討します。



※2 複合化とは？

別の機能を持った複数の施設を集約することで行政サービスの向上、維持管理費用の削減を検討します。現在の施設の空きスペースを有効活用する場合や、老朽化した施設の建替えに合わせ複合化を検討します。



問10. 平戸市の公共施設等に対して期待することや要望、老朽化対策や維持更新コスト（費用）の削減のために必要と考えられる方策などについて、あなたの率直なご意見やアイデア（提案）がありましたら、以下にご自由に記述ください。

●さいごに、回答者であるあなたご自身について教えてください。

設問ごとに当てはまる番号1つに○をしてください。

問11. あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性

問12. あなたの年齢（平成28年1月1日現在）を教えてください。

- 1 29歳以下 2 30～39歳
3 40～49歳 4 50～59歳
5 60～64歳 6 65～69歳
7 70歳以上

問13. あなたの世帯構成を教えてください。

- 1 一人暮らし 2 夫婦のみ
3 親と子（2世代） 4 親と子と孫（3世代）
5 その他（_____）

問14. ご家族の中に、次の方（あなた自身も含め）がいらっしゃるか教えてください（複数回答可）。

- 1 小学校入学前の児童（未就学児） 2 小学生・中学生
3 65歳以上の方

問15. あなたが現在お住まいの地区を教えてください（次ページの地図を参考にしてください）。

- 1 北部 2 中部 3 南部
4 度島 5 生月 6 田平 7 大島

問16. あなたは平戸市にお住まいの年数を教えてください。

- 1 5年未満 2 5年以上10年未満
3 10年以上20年未満 4 20年以上

問17. あなたが日常で徒歩以外でよく利用する交通手段を2つまで教えてください。

- 1 自家用車（自分が運転） 2 自家用車（家族などが運転）
3 鉄道 4 バス（コミュニティバス）
5 タクシー 6 原付バイク・バイク
7 自転車 8 シニアカー（電動カート）
9 その他（_____）

アンケートは以上で終了となります。

【この回答用紙を返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。】

※返信用切手は不要です。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。